

発展するロシア  
ーロシア経済視察団で考えるー

開倫塾  
塾長 林 明夫

1. はじめに

(1)おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。

(2)2月7日(月曜日)から13日(日曜日)までロシアに行かせていただきましたので、今日はそのお話を少しさせていただきます。

2. (1)ロシアに行った目的は、東京の公益社団法人経済同友会のロシア・NIS委員会が主催したロシア視察に参加したためです。東京の公益社団法人経済同友会は、経済三団体の一つで、栃木県にも栃木県経済同友会があり、私はそこにも入らせていただいています。

(2)ロシア視察に行ったのは、全部で7名です。双日総合研究所の所長さんである多田幸雄さん、ティラドという国際的な自動車部品会社の社長さんである嘉納裕躬さん、BNPパリバ証券会社の東京支店の会長さんである中村雅信さん、トヨタファイナンスサービスの副社長さんである平野英治さん、NTTの副社長さんである金澤薫さんというそうそうたるメンバーと私、経済同友会事務局の永井さんの7名で、非常に勉強になりました。

(3)初日は、河野ロシア駐在大使がモスクワの日本大使館で主催してくださった懇談会にお招きいただき、ロシアの現状についてお話を伺いました。

(4)次の日は、まずモスクワから少し南方にあるヴォロネーシという州の知事さんがいらっしゃって、日本の企業はヴォロネーシに来てほしいというお話をされました。その後は、ロシア政府の経済発展省に行きましたが、そこでも日本の企業に来てほしいとの強い要請を受けました。また、カルーガ州のルターニモフの知事さんとも面談し日本企業招聘の依頼がありました。以上が2日目です。

(5)3日目は、ロシア版のシリコンバレーをつくる動きがあるスכולコボというところに行きました。そこで、ロシア版シリコンバレーの真ん中にあるスכולコボ NBA スクールという大学のキャンパスを見学した上、また、ロシアの学者の方々や企業の方々と3時間程英語で議論をしました。そこには、明治大学の吉村先生がスכולコボでの会議終了後日本の企業のイノベーションについてお話をして下さいました。

(6) 現地のトヨタ自動車の部品配送センターと販売会社の 2 つを見学に行きました。トヨタファイナンシャルサービスの平野副社長さんが一緒でしたので、部品の搬送システムを含めトヨタの車がどのように売られているのかについてのお話を本社で伺ったあと、ディーラーに行ってみて実際にトヨタの車がどのように売られているのかを勉強しました。

(7) 4 日目は、モスクワから高速列車で 3 時間半もかかるところにある自動車部品会社の大同メタルを訪問し、その工場を見学しました。この会社は、日本の会社がロシアの会社を買収したものです。ロシア人の社長さんが日本的な経営をマスターしたあと、日本の会社と一緒にあって日本のいろいろな部品をつくっている素晴らしい工場でした。古いラインはすべてロシア用、新しいラインはヨーロッパへの輸出用と分けて、2 つのものをつくっていました。

(8) 5 日目は、TRM というラジエーターをつくる会社に行きました。ここは近代的な会社で、素晴らしいラジエーターをつくってロシアの自動車会社向けに販売しようとしていました。ただ、最高級品ですので、これを買うロシアの自動車会社は少ないようです。そのため、生産量が少なく、工場にはまだまだ余力がありました。それでも、ロシアの自動車産業がこれから盛んになることを見越して新しい投資をし、日本人の方々が一所懸命働いていらっしゃいました。そのあとは、GAZ という自動車会社を訪問し、ロシア人の社長さんからお話をお聞きしました。

(9) さらに午後は、そこから 3 時間半もバスに乗り、サロフ・テクノパークに行きました。サロフは、原子力発電所や原子力爆弾の製作で有名なところですが、現在は、原子力の研究者たちがいろいろな科学技術の研究に目を向けて、原子力以外のものを研究しています。その中のインテルという会社を訪問したところ、30 歳代ぐらいの若いロシア人が 100 名近く、そこでインテルの基礎研究をしていました。アメリカ人は一人もいず、若いロシア人だけでインテルの基礎的な研究をしていました。これにはビックリしました。彼らは、ぜひ日本の企業や研究所にも来ていただきたいと言っていました。

(10) 最後の日は、モスクワに戻ってユニクロ店を見学したり、当地を訪問していらっしゃった前原誠司外務大臣と 20 分ぐらい懇談をしたりしました。

3. (1) このように、先週はロシアに行き、とても有意義な体験をしてきました。そこで今日は、ロシアの視察についてお話をいたしました。

(2) ところで、ロシアは零下 30 度で非常に寒かったです。しかし、向こうから陽の光が射してくると、そこにとても綺麗な虹のようなものがキラキラと出てきて、素晴らしい光景を目にすることができました。ロシアにもう一度行ってみたいと思います。

— 2011 年 10 月 31 日記 —